



駒澤大学 学生への食支援プロジェクト 「食に願いを@七夕」 包装米飯の無償提供



■目的

駒澤大学では、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けている学生を支援するため、複数企業・団体との連携で行う学生への食支援プロジェクトを展開。

当協会でも同プロジェクトに賛同し、仕送りやアルバイト収入の減少により生活が厳しく、またコロナ禍により簡単に実家に帰る事ができない一人暮らしの学生に対し、大学と連携し、食糧支援として包装米飯の無償提供を行うとともに、美味簡単便利な包装米飯の活用・普及を訴求。

学生からは、「一人暮らしにはとても有り難い」「パックごはんが特に助かります」との喜びの声を頂きました。

■概要

開催場所：駒澤大学 記念講堂ステージ

日 程：2021年7月5日（月）～9日（金） 各日11:00～15:00

合計2,100名程の学生に対し企業・団体からの提供食品を配布。

■米飯協会配布物

◎包装米飯：9,000食と米飯協会作成のチラシを配布（両面印刷）。

※アSEMBリ作業は、駒澤大学にて実施。

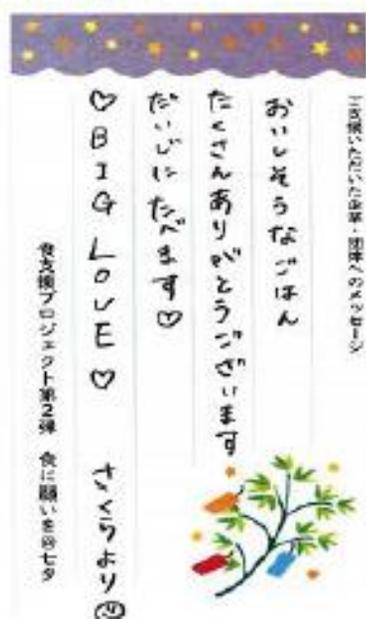
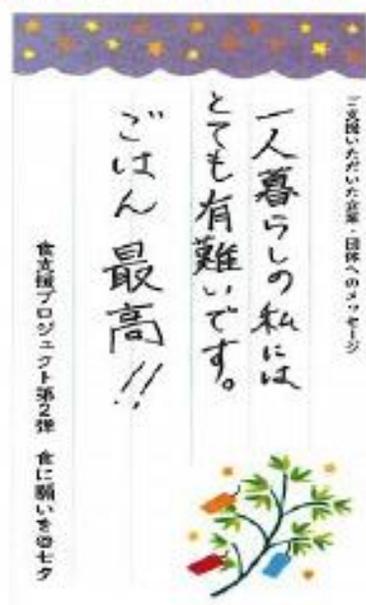


■配布写真（駒澤大学ご提供）





※学生からの手書きメッセージ（一部抜粋）



■駒澤大学HP掲載

<https://www.komazawa-u.ac.jp/news/event/2021/0722-10639.html>

学生への「食」支援プロジェクト第二弾「食に願いを@七夕」を開催



Date: 2021.07.22 大学の取り組み・行事

総務部広報課

7月5日（月）～9日（金）に駒沢キャンパス記念講堂で、学生への「食」支援プロジェクト第二弾として「食に願いを@七夕」を開催しました。

ご賛同いただいた企業・団体から多くの食品を無償で提供していただき、総重量5トンもの支援となりました。

およそ2,100人の学生に食品を提供することができ、支援を受けた学生からは、「コロナの影響でバイトのシフトが減り、また一人暮らしで実家に簡単に帰れない中、食べ物の支援はとても助かりました」、「どんな企業においても少なからず新型コロナウイルスによる打撃を受けているにも関わらず、無料で食料提供はとても助かりました」など、感謝の声が多く寄せられました。

なお、2021年9月下旬～11月頃にも「食」支援プロジェクト（第三弾）を計画中です。

提供食品

- 【駒澤大学から】「苫小牧名物 ほっきカレー（レトルト）」 2,010個
- 【駒澤大学から】「福島県産米（1合分）」 2,900袋
- 【駒澤大学から】「ふくしまの水（ペットボトル）」 2,016本
- 【駒澤大学から】「復刻！パオのミートソース（レトルト）」 700箱
- 【全国包装米協会から】「バックご飯（1人3パック）」 3,000人分
- 【カルビー株式会社から】「フルグラ（180g）」 2,000袋
- 【カルビー株式会社から】「カレーグラ（150g）」 2,000袋
- 【Pasco（敷島製パン）から】「麦のめぐみ・全粒粉入り食パン3枚」 1,000袋
- 【Pasco（敷島製パン）から】「麦のめぐみ・全粒粉入りリングリッシュマフィン2個」 1,000袋

